

丸 之 内 通 信

塘沽港浚渫進む・日本技術の勝利

港灣問題の解決は北支經濟開發の爲、一大急務とされてゐるが、現在では其の暫定嚮置として、北支政府では塘沽港の浚渫を企圖し、百萬元を投じて日本の優秀な技術を以つて白河バー（河口の沙洲）を浚渫する事となつた。

既に六月中旬内務省の浚渫船第一船が入港し、第二船は先月入つて、今年の結氷期までには現在の水深七尺、幅五十メートルのバーを水深約十二尺幅六十メートルに擴張す可く作業を始めてゐる筈であるが、之が完成の曉は三千噸の船舶が、満潮時を利用すれば毎日入港出来ることになり、物資輸入に多大の便宜を齎すことになるわけである。

尙ほ塘沽浚渫の當の責任者海河航政局では從來浚渫式浚渫船を使用してゐたが航政局の見解ではこれ外には方法なしとしてゐたのに対し、政府當局は本の専門家に調査を依頼した結果日本技術を以てれば更に改善し得るとの確信を得て、今回の浚渫に取りかゝつたもので先の大黃河鐵橋と同じく、此處にも日本技術の勝利が上つたわけである。

牧野雅樂之丞氏の歸朝

技術日本のアメリカ大陸進出の第一歩をなすべき、メキシコ國政府委託の同國々道鋪裝工事の任務を帯びて昨年六月横濱を出發せし元内務省下關土木

出張所長たりし牧野雅樂之丞氏は、渡米以來一ヶ年の貴き經驗を得て七月二十八日横濱着の秩父丸で無事歸朝した。

木津正治氏逝去

昭和十一年十一月内務省機濱土木出張所長を退職以來、港灣協會の地方港灣主査及び調査委員として、南洋或は樺太其他の港灣施設に關與してゐた從三位勳三等木津正治氏は、八月十四日郷里石川縣高岡市に於て狭心症のため急逝された。

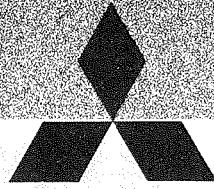
木津氏は明治四十年東京帝大土木科出で、直に内務省に入り下關の土木出張所に於て關門海港改修工事に従事し、昭和四年三月横濱土木出張所長に榮轉するまで實に二十餘年間關門港灣工事の爲に盡した人である。現に下關には故沖野博士に依つて木津丸と命名された浚渫船が存在してゐる程である。因に告別式は八月二十七日横濱市櫻木町西本願寺別院に於て盛大に執行された。

岸金三郎氏逝去

我國鐵道建設の初期に於て各地の工事に多大な功績を残した元鐵道省技師從三位勳四等岸金三郎氏は八月十二日腦溢血のため急逝された、享年七十八歳氏は明治二十一年の東大土木科出で、關係工事としては管子隧道が最も著名である。

| | | | |
|--|---|--------------|--|
| 土 木 工 事 畫 報 第十四卷 第九號 | | 定價金七拾錢 (稅二錢) | 毎月一回一日發行 二年十二冊發行 |
| 普通購讀料 壹部 七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳圓 稅共 六ヶ月 四圓 同 一ヶ年 八圓 同 外國一部 七十八錢 稅 共 | 昭和十三年 八月廿六日印刷納本 昭和十三年 九月一日發行 編輯兼印刷發行人 岡 崎 保 吉 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地 | | 關 西 支 局 大阪市浪速區惠美須町 2丁目13 工事畫報社支局 電話 殘 86 番 |
| 注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し六、ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。 | 發行所 工 事 畫 報 社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電 話 丸ノ内二六三三番 振 替 東京七〇貳六五番 | | 大 賣 捌 所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館 |

三菱の橋梁



大井川橋 長門川橋 船橋 船橋川橋 宇治川橋

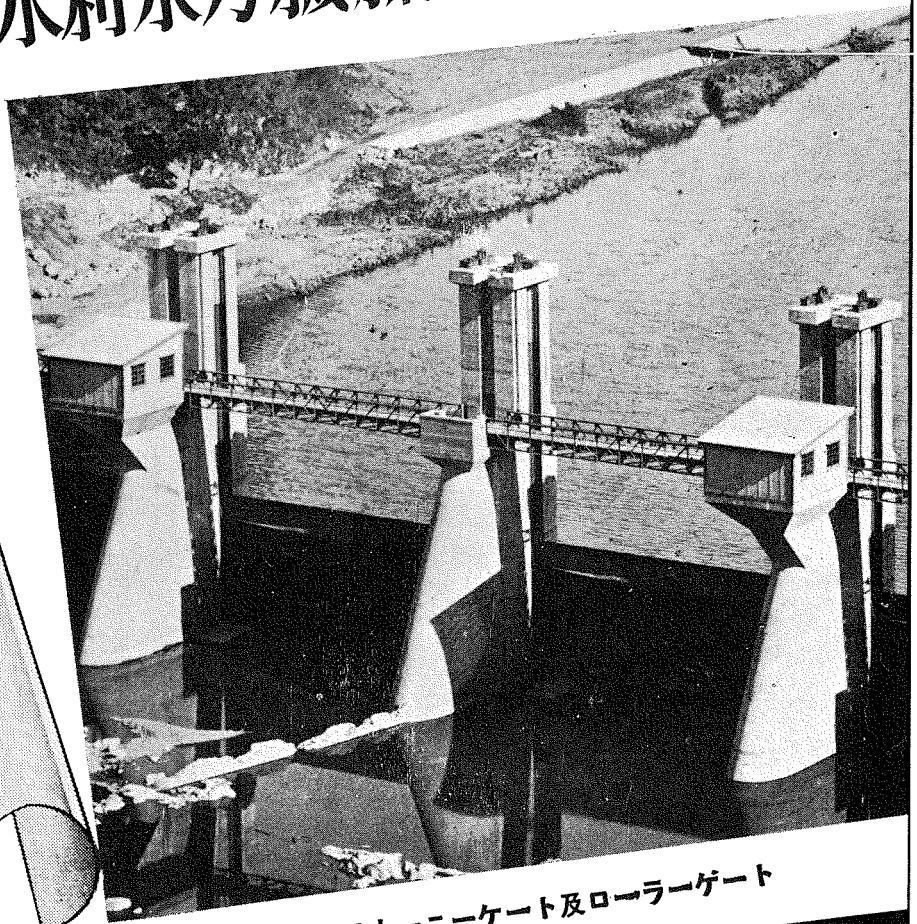
三菱重工業株式會社

横濱船渠

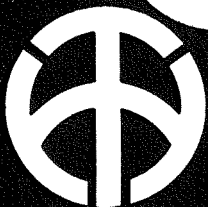
横濱市中區根町

田原の水門

水利水力機械 設計製作



特許田原式ストーンゲート及ローラーゲート

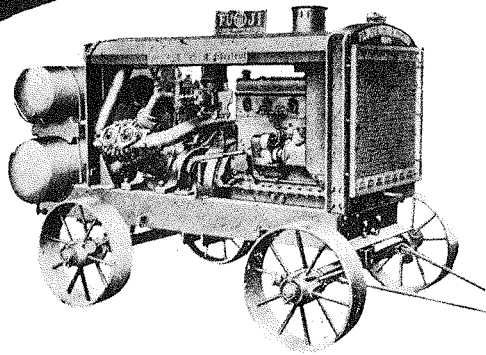


東京・亀戸

田原製作所

電話墨田(74) 0026・3416・5109番

「不二」空氣壓縮機



K.P.G 型
ガソリンエンジン直結
可搬式空氣壓縮機

「不二」新型空氣壓縮機!!

在來ノ群少品ヲ完全ニ征服セル理想
的優秀國産品ニシテ能率増大堅牢無
比ヲ誇ルモノデアリマス

製品項目

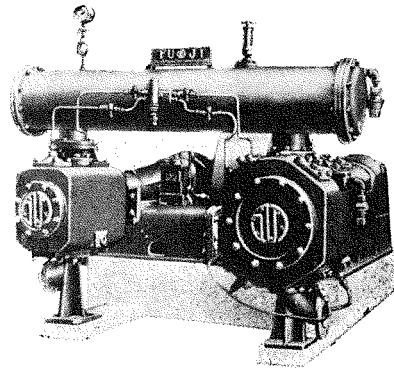
第一部

- 「不二」 空氣壓縮機
- 「不二」 眞空唧筒
- 「不二」 噴霧塗工裝置
- 「不二」 鑿岩機
- 「不二」 空氣機器

第二部

- 「不二」 自動給水裝置
- 「不二」 電氣冷凍機
- 「不二」 タービンポンプ
- 「不二」 車體洗滌機
- 「リング」 自動スキツチ

型錄進呈



HD-2 型
横置水冷後筒二段壓縮式
空氣壓縮機



登録 商標

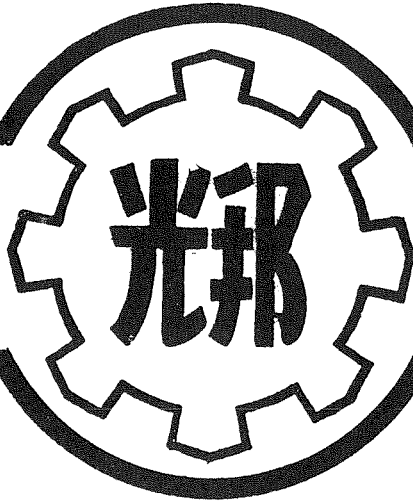
創立 明治四十一年五月

社長 工學士 藤村 忠巳

藤村機械製造株式會社

大阪市此花區江成町 (電話土佐堀515・613番)

富海工場 山口縣山陽本線富海驛 (電話富海10番)



商標

登録

根屋陸下地
工施任責事工難

定指廳官諸
劑水防トンメセ

かふがちが點のどと劑水防な凡平の通普

① 專賣特許三件を有す

邦光が如何に傑出した防水劑であるかは此事實に依りても明らかでせう。尙目下出願中四件あり。

② 中央諸官廳指定品中隨

一 嚴格な試験と經歷調査の結果に據る中央官廳殆んど全部の指定は吾が邦光のみで最も誇りとする處であります。

③ 防水研究所を有す

業界の躍進に備へて權威ある専門家を以て不斷の研究と一般防水工事の御相談に當らせて居ります。

④ 容易に防水の目的を達す

用法が簡單で急硬、瞬硬、意の儘の施工が出来る上、而も防水防腐蝕磨耗抵抗の目的が完全に達せられます。

邦光化學工業所

（詳細は説明書御請求を乞ふ）

大阪營業所

り通堀波阿區西市阪大
グンデルビ堀波阿
番九八四五(53)町新話電

地番三目丁二橋服吳區橋本市京東

東京本店

番七三五—(24)橋本日話電
番二九〇—二—京東替振

東京地下鐵道株式會社技師 須之内 文雄 著

新 刊

技術者用經濟學

定 價 ¥ 2.00

送 料 内地 0.21
滿鮮臺樺 0.34

(菊 判 270 頁・圖表 豐富)

産業の各部門が總て技術と經濟の合作なる今日に於て兩者の理解協力に俟つべき諸項は無數である。技術者が單なる建造者、製造者であつたのは過去の事であり、新日本をして世界産業の第一線に立ちアジア開發の大業を完成せしむる爲にも、先づ舊來の小殻より脱し經濟的常識を備へた技術者が計畫實行の先陣に立たなければならぬ。即ち我々技術者は已が技術の兩側に科學と經濟の兩者を抱き之等三者を眞に一體化した能率文明建設力の中心たるべきである。

本書は此の目的達成の手段として舊來稍々もすれば冗漫不可解で技術者にとり興味を失はれ勝ちであつた經濟學を技術的に數表を挾んで簡明に説いたものであり、技術者の筆になつた最初的一般經濟書と言ふ事が出来る。技術者が經濟知識を把握する爲、絶好の參考書であり、新時代に於ける技術者の座右に一部を必ず備ふべき書である。

本 書 の 特 色

- (1) 諸項目の説明を出來得る限り簡明にしたる事
- (2) 技術者の眼に慣れたる横書を採用したる事
- (3) 技術者の好む圖表、算式等を多く挿入して經濟事項の説明をなすべく勉めたる事

目 次 大 要

第1章總論 第2章經濟學の基礎觀念 第1節慾望 第2節財 第3節價值 第4節經濟現象觀測の標準 第3章生産 第1節生産の意義及要素 第2節自然 第3節勞力 第4節資本 第5節企業 第4章交易 第1節交易の意義及種類 第2節貨幣 第3節信用及信用機關 第4節信用證券 第5節價格の決定 第6節商業 第5章所得 第1節所得の意義及種類 第2節地代 第3節賃銀 第4節利子 第5節利潤 第6章消費 第1節消費の本質 第2節生産と消費との均衡 第3節各種消費材料 第4節人口問題 第7章各種生産企業 第1節工業 第2節礦業 第3節農林業 第4節水産業 第8章産業の合理化

東京市京橋區銀座七丁目三番地

合 資 會 社 工 業 雜 誌 社

電話銀座二〇二三番・振替東京一四六五〇番

特許安全架空索道

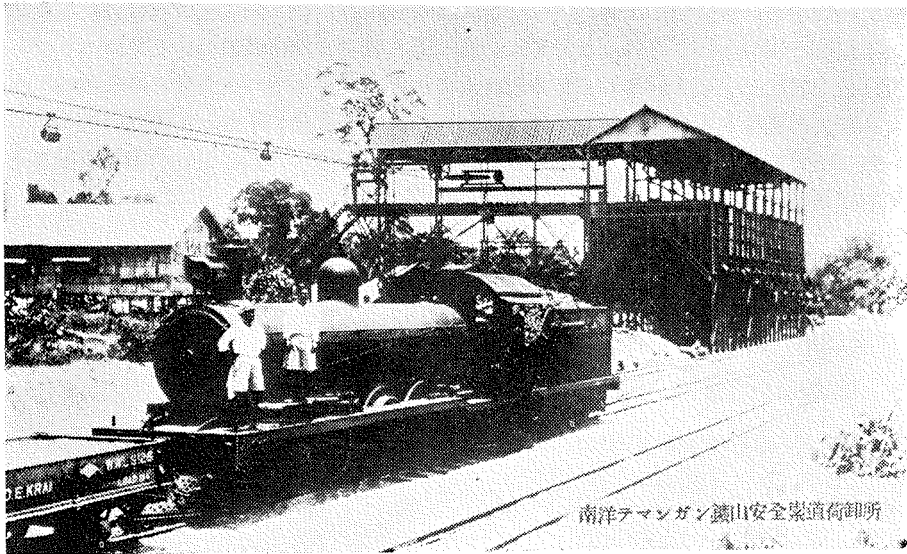
(旅客及貨物用)

特許 16件 新案 17件

Southern Mining Co's Ropeway,

Temangan, Kelantan, Malay.

Capacity: 1,200 tons per day.



南洋マングアン鐵山安全索道荷卸所

南洋馬來半島マングアン南洋鐵鑛會社の安全索道

能力一日壹千貳百噸(鐵鑛石)

過去廿五年間の製造供給高

| | |
|------------------------------------|----------------|
| 總延長.....3.720杆 | 架設箇所.....398ヶ所 |
| 總輸送量.....82.500噸(每一日) | 最長の索道.....40杆 |
| 最大索道の輸送量.....3.000噸(每一日) | 旅客索道.....5ヶ所 |
| 供給地 日本内地・朝鮮・臺灣・滿洲・支那・ソビエフト・北樺太・南洋等 | |

株式會社 **安全索道商會** 電話北濱 1596 3857

大阪市東區今橋二丁目(信銀ビル)

代理店 **三井物産株式會社本支店**

見積 迅速

安全索道の型録及文獻
御申込次第贈呈可仕候

値段 勉強

超 高 級

浅野ベロセメント

短期 高 強 度
工事 期 間 短 縮
工事 費 節 約



(浅野セメント香春工場)



低 發 熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

東京丸ノ内・海上ビル新館

大正十四年八月二十八日第三種郵便物認可
 昭和十三年九月二十六日印刷
 昭和十三年九月一日發行(毎月一回一日發行)

土木建築工事畫報 第十四卷 第九號

SLUMP TEST

混凝土試験の最も簡便なる方法

貴下の現場では混凝土にどんな試験を施して居りますか?

混凝土の稠度(Consistency)を試験して建造物に一定の強度を與へる爲のスラムプテストこそ、凡ての混凝土工事を合理的ならしめ、その精密と安全を保證する唯一の最も簡便な試験です。用具は………

- | | | | |
|------------|-----|-----------------------|-----|
| 1. スランプコーン | 壹 個 | 4. スコープ | 壹 個 |
| 2. 搗 棒 | 壹 本 | 5. 検寸定規 | 壹 本 |
| 3. コ テ | 壹 個 | 6. スランプ テ ス ト 記入用紙 | 百 枚 |

以上一組を箱入として、工事畫報社の工事研究會で製作分讓して居ります。用法とテストの記入法などカードに印刷して箱蓋に貼付してありますから、工事監督の工夫君にても助手君にても簡単に使用出来ます。

一組臨時定價 金 20 圓 荷造料運賃内地壹圓五拾錢 同 上 海 外 參 圓

東京丸ノ内三丁目六番地 (電話丸ノ内 (23) 2633, 振替東京 70265,)

工事畫報社内 工事研究會

定價金七十錢
 満・鮮・臺定價七十七錢
 (送料)